

Syrie: le recours inquiétant aux enfants-soldats

Par Gaël Grilhot

1. Vidéo de propagande tournée à Palmyre, où 25 soldats syriens détenus par le groupe EI, sont à genoux devant ce qui paraît être des enfants ou des adolescents en tenues de camouflage.
2. L'utilisation d'enfants-soldats par les groupes armés qui combattent en Syrie ne cesse de préoccuper les organisations de défense des droits de l'homme et les institutions internationales. Plusieurs rapports récents montrent que leur nombre s'est accru, particulièrement dans les rangs jihadistes où ils subissent un conditionnement idéologique important.
3. Le 15 juillet dernier, l'Observatoire syrien des droits de l'homme (OSDH) affirmait qu'au moins 1 100 enfants-soldats avaient été recrutés depuis janvier par le groupe Etat islamique, même si l'ONG avoue que le nombre total d'enfants impliqués dans l'organisation est difficile à connaître avec précision. Mais les jihadistes du groupe EI ne sont pas les seuls à recruter des enfants-soldats en Syrie, précise l'OSDH, qui vise également le Front al-Nosra.
4. Les autres groupes combattants ne font guère mieux, confirme un rapport des Nations unies publié en juin dernier. Tout en reconnaissant que les chiffres réels sont probablement nettement plus élevés (le rapport se base sur des cas vérifiés), l'ONU précise qu'au moins 142 mineurs étaient également incorporés au sein de l'Armée syrienne libre, et 24 dans les Unités de protection du peuple kurde (YPG). Depuis la signature d'un « *acte d'engagement* » avec l'ONG Appel de Genève, 149 jeunes de moins de 18 ans ont toutefois été démobilisés. Mais selon Human Rights Watch, l'YPG continuerait toujours aujourd'hui de recruter des mineurs.
5. Enfin, des milices syriennes pro-Bachar el-Assad, ainsi que le Hezbollah, recruteraient également, mais dans une moindre mesure, des enfants-soldats dans leurs rangs. Si le régime de Damas ne semble pas directement concerné, il est en revanche accusé, dans le même rapport, d'utiliser les enfants comme « *boucliers humains* » ou dans le cadre du « *travail forcé* ».

日本語訳

1. これはパルミラで撮影されたプロパガンダの動画であり、その映像の中でイスラム国によって拘束された 25 人のシリア人兵士たちが迷彩服を身にまとった子供たち、又は青年たちと思われる人の前でひざまずいている。
2. シリアで戦闘中の武装勢力による少年兵の使用は人権擁護団体や国際機関を脅かし続けている。最近発表された、いくつもの報告書は少年兵の数が増加しており、とりわけ聖戦主義者たちの集団の中で彼らは重大なイデオロジック的操作を受けていることを明らかにしている。
3. 非政府組織が(過激派)組織に巻き込まれた子供たちの総数を正確に知ることは難しいと認めているとしても先月 15 日、シリア人権監視団(OSDH)は少なくとも 1100 人の少年兵たちが 1 月から徴募されていることを断言していた。
4. 国際連合が 6 月に発表した報告書は、ほかの戦闘集団も同じようであると示している。実際の数字はおそらく明らかに高いことは認めつつも(報告書は確認されたケースのみを基にしている)、国際連合は少なくとも 142 人の未成年者たちが同様に自由シリア軍に加わっており、24 人がクルド人防衛隊に加わっていると明らかにしている。それでもジュネーブにおける非政府組織との調印以降、18 歳以下の 149 人の若者たちが軍隊から脱退している。しかしヒューマン・ライツ・ウォッチによるとクルド人防衛隊は依然として今日でも未成年者たちの徴募を続けているとみられている。
5. そして、バッシュール・アル＝アサド肯定派の民兵たちと同じようにヒズボラも同様に、しかしより小さな範囲で、自らの集団内で少年兵たちを徴募しているようだ。確かにダマス政権は直接的には関与していないようにみられているが、むしろ同じ報告書の中で、子供たちを”人間の盾”もしくは”強制労働”の枠組みとして利用しているとして非難されている。

単語・熟語/文法解説

1. tourner:撮影する

détenir:～を拘束する

à genoux:ひざまずいている

- 動詞 **tourner** は「回転する」、「曲がる」の意味のほかに「撮影する」という意味がある。日本語で「カメラを回す」という y 表現があるのと同じような感覚で使われている。
- **à genoux** は「ひざまずいている」状態を示す表現である。**genoux** が複数形なのは、地面にひざまずくときに片足ではなく両足で地面に接するため。
- **camouflage** は日本語の「カモフラージュ」のもととなっている単語である。ここでの意味は「迷彩柄」である。

2. enfant-soldat:少年兵

cesser de:～するのをやめる

préoccuper:～を心配させる

s'accroître:増加する

rangs:集団

subir:～を受ける

conditionnement:操作

- 動詞 **cesser** は文章内で否定形として使われる際に **pas** を用いないことが多い。
- **s'accroître** は「増加する」という意味を持つ動詞だが、日常語では **augmenter** 「増える」に置き換えられる。書き言葉では前者が好まれ、話し言葉では後者が使われる場面が多い。
- **rang** は単数形では「順位」や「列」を意味するが、複数形では「集団」や「陣営」を意味する。

3. observatoire:監視団

recruter:~を徴募する

impliquer:~を巻き込む

avec précision: 正確に

le seul à + inf. :~するのは~だけだ

le seul à + inf.の表現は le seul qui+接続法で置き換えられる。

4. élevé:高い

se baser sur:~に基づいている

incorporer:~を加える

au sein de:~の中に

signature:調印

- combattants は qui combattent で置き換えられる。
- Les autres groupes combattants ne font guère mieux, confirme un rapport des Nations unies publié en juin dernier.という文は主語と述語が倒置されている。一般的な語順は Un rapport des Nations unies publié en juin dernier confirme que les autres groupes combattants ne font guère mieux.である。倒置の理由はニュースでは情報源の提示より先にニュースの内容が提示されるからである。
- au sein de は dans とほぼ同じ意味を持つ。ここで dans の代わりに au sein de が用いられている理由は文を追ってみていくと dans という単語が使われており、同じ語の繰り返しを避ける目的がある。
- mineur は「未成年者」を示す単語であり、対義語は majeur 「成年者」である。

5. milice:民兵

moindre:より小さい

mesure:範囲

en revanche:逆に

bouclier:盾

dans le cadre de:～の範囲内で

- ainsi que は「～も同様に」という意味を持つ。
- recruterait が条件法現在形で用いられている理由は条件法を使うことで【推定】や【伝聞】の意味を表すためであり、ここでは「～だろう」という情報の信ぴょう性が 100 パーセントではないことを示すために用いられている。
- si は「もし～」という意味ではなく、「～ではあっても」というような【譲歩】の意味を含有している。